

## 明石サービスエリアへのスマートインターチェンジの設置検討について

明石サービスエリアへのスマートインターチェンジ(以下、スマートICという。)の設置について、前回調査(令和4年度~令和5年度)の中で、スマートICの設置に石ヶ谷公園の梅林エリアのおよそ8割を利用するルートが上がってきたことから、梅林保全を前提とした別ルートの検討状況について報告します。

### 1 設置ルートの再検討

前回の調査結果に基づき、石ヶ谷公園の梅林を保全するルートや石ヶ谷公園への影響等について検討しています。

- (1) 業務委託名 スマートIC設置基礎調査(その2)業務委託
- (2) 検討期間 2025年(令和7年)8月7日~2026年(令和8年)3月31日
- (3) 検討状況 次の2案を検討しています。

	A案	B案
ルート図		
ルートの特徴	<p>市道大久保302号線から石ヶ谷公園の周縁部を經由し、梅林の一部を通過して明石SAに接続するルート                      梅林エリアへの影響範囲は全体の2.5割程度を想定                      全体事業費 約16億円                      (うち、市の実質負担額 約3億円)</p>	<p>市道大久保302号線から石ヶ谷公園の周縁部を經由し、中央体育会館と梅林の間を通過して、明石SAに接続するルート                      梅林エリアへの影響範囲は全体の1.5割程度を想定                      全体事業費 約21億円                      (うち、市の実質負担額 約5億円)</p>

※事業費は今後の検討により変動する可能性があります。

### 2 今後の進め方

上記の2案をもとに国、県、NEXCO西日本に今後も引き続き相談しながら調査検討を進めます。また、前回調査における他の検討事項(周辺道路への影響調査や石ヶ谷公園の都市計画変更など)についても整理していくとともに、進捗状況を踏まえ、議会や市民に適宜、説明していく予定です。